卒業論文

日本人の初対面コミュニケーションの特異性
――日本人学生と留学生の比較分析――

2011 年度入学

九州大学　文学部　人文学科　人間科学コース

社会学・地域福祉社会学専門分野

2015 年 1 月　提出

要約

本論文の目的は、コミュニケーションにおいて消極的だ、と指摘される日本人の発話行為を妨げる要因を考察することにある。本論文では、初対面という場面に焦点をあて、日本人学生と留学生の初対面コミュニケーションを比較することにより、日本人の初対面コミュニケーションの特異性について考察していく。

第 1 章では、私が日本人の初対面コミュニケーションを取り上げることを決めたきっかけになった、九州大学の留学生 H さんと L さんへのインタビュー調査をまとめている。また、テーマを明確化したうえで、なぜ初対面コミュニケーションに着目するのか、という点についても論じている。第 2 章では、日本人のコミュニケーション全般に着目した先行研究についてまとめている。その中で、日本人のコミュニケーションは、「察する」ことが重要であることが見えてきた。しかし、初対面という場面に着目した先行研究は見られなかったため、本論文において調査を進めていく。第 3 章では、プレ調査を通じて、日本人の初対面コミュニケーションにおいての発話行為を妨げているのは、会話の終わらせ方が分からないという「終わらない恐怖」なのではないか、という作業仮説をたて、九州大学の日本人学生にインタビュー調査を実施し、その内容についてまとめ、考察している。第 4 章では、日本人学生へのインタビュー調査を踏まえて、留学生は初対面コミュニケーションにおいて、「終わらない恐怖」を抱いているのか、という点に着目し、留学生へインタビュー調査を行った内容についてまとめている。第 5 章では、日本人学生と留学生の初対面コミュニケーションを比較し、日本人の初対面コミュニケーション特異性について明らかにしている。また、先行研究で見えてきた、日本人のコミュニケーションにおいて欠かせない「察し」と初対面コミュニケーションの関係性まで言及している。

目次

はじめに 1

第 1 章　「シャイ」な日本人..... 2

1.1　はじまり 2

1.2　H さん･L さんとの出会い 2

1.3　H さん･L さんへのインタビューを終えて 4

1.4　初対面コミュニケーションを扱う理由 5

第 2 章　先行研究 5

2.1　コミュニケーションとは 5

2.2　コミュニケーションと社会学 6

2.3　他人と口をきかない日本人 7

2.4　「無言社会」である理由 8

2.4.1　ウチとソト 8

2.4.2　日本的コミュニケーション 8

2.4.2.1　「秘」の文化..... 8

2.4.2.2　「甘え」 9

2.4.2.3「恥」の文化..... 9

2.4.2.4　「察する」ということ..... 9

2.4.3　ソトのコミュニケーション 10

2.5　問題設定 10

第 3 章　日本人学生へのインタビュー調査..... 11

3.1　プレ調査 11

3.1.1　調査概要 11

3.1.2　シナリオ設定 11
3.1.3　調査対象者 13
3.1.4　調査結果報告 13
3.1.5　仮説の設定 15
3.2　本調査 16
3.2.1　調査概要 16
3.2.2　調査対象者 16
3.3 調査結果報告 16
3.3.1　A さん 16
3.3.2　B さん 19
3.3.3　C さん 21
3.3.4　D 君 25
3.3.5　E さん 28
3.4　考察――日本人学生のインタビュー調査を終えて―― 31
3.4.1　無言の会話モードと終わらない恐怖 32
3.4.2　見知らぬ人との会話に消極的でない人もいる 32
3.4.3　相手や状況による行動の変化 33
3.4.4　終わらない快楽 35
3.4.5　会話の終わらせ方 36
3.5　外国人の初対面コミュニケーション――E さんの体験談から―― 36
第 4 章　留学生へのインタビュー調査 39
4.1　調査概要 39
4.2　調査対象者 40

4.3　調査方法 40
4.4　調査結果報告 40
4.4.1　F君 40
4.4.2　Gさん 43
4.4.3　Iさん 46
4.4.4　J君 47
4.5　考察 49
5章　比較分析 49
5.1　日本人特有の無言の会話モード 49
5.2　日本人特有の終わらない恐怖 50
5.3　「察する」ということ 51
6章　今後の展望 51
参考文献 52